

話は変わる。経営のことである。

仕事柄、自分は毎日のように経営者と呼ばれる方々とお会いしている。

考えてみると、自分も零細ながら「経営者」である。

スケールこそ違いが、お話を聞いていると、その悩みの深さ、厳しさが痛いほどわかる。

しかし、逃げられない。

そして、ここからが肝心なのだが、

**経営というのは宮本武蔵(本人のみ)ではできない。
一人以上の人を使って、初めて経営者なのである。**

もちろん、

個体能力をお持ちの方が経営者になるのだが、

トップになったが最後、

**その会社が発展するかどうかは自分一人だけではどうにもならず、
働いてくれる部下如何にかかってくる。**

西郷は経営者向きだったろうか。

維新回天の時、革命を成功させる(勝つ)ための戦略はずば抜けていた。

ある意味で超一流の経営者が見せるような手腕を発揮して見せた。

しかし、西南戦争の時の西郷は全くお粗末、

戦略など立てていないに等しい。

政府に対して「尋問の筋あり」と言って軍隊を率い、

上京しようとした時、

俺がここ(熊本城)を通せと言えば、

政府側は恐れ入って通してくれると思ったのか、

全くそんなことは考えず弟子達に命を預けてしまったのか……。